



# たしみず 市議会だより

ジョン万のふるさと土佐清水



第112号

2020年2月1日



## 10月会議・12月会議

きらら清水保育園

- 10月会議・12月会議の概要..... 2
- 議案等の議決結果..... 3
- 一般質問(要旨)..... 4
- 委員会の審査内容.....12
- 議長の活動報告.....15
- 議会日誌.....16





## 12月会議では、 市長提出議案26件を原案どおり可決！ 教育委員会教育長を含む人事案件3件を 全会一致で同意！！

### 10月会議の概要

10月会議は、10月28日に再開し、審議期間を1日間と決定し、市長から土佐清水市地場産品販売施設の指定管理者の指定事項の変更についての議案が提出され、産業厚生常任委員会の審査を経て、採決の結果、全会一致で可決し、散会いたしました。

### 12月会議の概要

12月会議は、12月2日に再開し、審議期間を12月18日までの17日間に決定し、市長から報告2件、議案26件が提出されました。

議案第1001号については、法律の施行に伴う関連条例の改正を行うものであり、施行期日を12月14日とされていることから、再開日に所管の委員会に付託し、審査を経た後、審査結果報告が行われ、採決の結果、原案のとおり可決いたしました。

一般質問は、12月9日から11日までの3日間行われ、災害時の長期停電を考える、「保護のしおり」に関わって、障害者への地域生活支援体制の整備、林業施策、集落活動センター、認知症の方への支援、長期財政見通し、スターウォッチングについてなど、8人の議員が質問戦を展開しました。

最終日には、12月会議で付託をされた議案について、各常任委員会から審査結果の報告を行い、採決の結果、全て原案のとおり可決いたしました。また、9月会議で付託された「土佐清水市迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情」については、趣旨採択とする委員長報告が行われ、委員長報告に対する質疑並びに反対討論及び賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数により審査結果のとおり決定いたしました。

また、市長から諮問1件及

び同意案2件が追加提出され、採決の結果、全て全会一致により同意いたしました。

さらに、国立公園\*ジオパーク推進課の新設に伴う市議会議案第7号「土佐清水市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について」が提出され、全会一致で可決されました。

12月会議の全日程終了後には、副市長から、アメリカで行われたジョン万祭りの報告が行われました。

議長から、本年一年を振り返っての挨拶が行われ、令和元年土佐清水市議会定例会を閉会いたしました。

### 人事案件

#### ○人権擁護委員

田島 好行 氏  
(三崎浦)再任

#### ○教育委員会教育長

弘田 浩三 氏  
(養老)再任

#### ○教育委員会委員

矢野川正道 氏  
(布)新任

## 議案等の議決結果

議会	番号	件名	議決結果
10月会議	議案第75号	土佐清水市地場産品販売施設の指定管理者の指定事項の変更について	可決
	報告第17号	専決処分した事件の報告について(訴えの提起について)	-
	報告第18号	専決処分した事件の報告について(訴えの提起について)	-
	議案第76号	令和元年度土佐清水市一般会計補正予算(第5号)について	可決
	議案第77号	令和元年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
	議案第78号	令和元年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決
	議案第79号	令和元年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第80号	令和元年度土佐清水市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第81号	令和元年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第82号	令和元年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
	議案第83号	令和元年度土佐清水市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第84号	土佐清水市特別養護老人ホームしおさい特別会計条例の制定について	可決
	議案第85号	土佐清水市防災物資配送拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決
	議案第86号	土佐清水市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定について	可決
	議案第87号	土佐清水市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定について	可決
12月会議	議案第88号	会計年度任用職員制度の導入等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
	議案第89号	土佐清水市あわび類中間育成施設等設置条例の全部を改正する条例の制定について	可決
	議案第90号	土佐清水市議会議員に対する期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第91号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第92号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第93号	土佐清水市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第94号	土佐清水市給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第95号	土佐清水市立水産加工場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	可決
	議案第96号	財産の無償譲渡について	可決
	議案第97号	土佐清水市地場産品販売施設の指定管理者の指定について	可決
	議案第98号	土佐清水市斎場の指定管理者の指定について	可決
	議案第99号	あしずり港交流拠点施設の指定管理者の指定について	可決
	議案第100号	土佐清水市立竜串貝類展示館の指定管理者の指定について	可決
	議案第101号	土佐清水市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
	同意案第4号	土佐清水市教育委員会教育長の任命について	同意
	同意案第5号	土佐清水市教育委員会委員の任命について	同意
	市議会議案第7号	土佐清水市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	陳情第1号	土佐清水市迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情	趣旨採択

## 賛否の分かれた議案等

番号	件名	谷口	弘田	武政	山崎	吉村	作田	岡本	甲藤	細川	前田	浅尾	永野	議決結果
		佳保	条	健三	誠一	政朗	喜秋	詠	眞	博史	晃	公厚	裕夫	
議案第90号	土佐清水市議会議員に対する期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	可決 (賛10、反1)
議案第91号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	可決 (賛10、反1)
議案第97号	土佐清水市地場産品販売施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	可決 (賛10、反1)
議案第99号	あしずり港交流拠点施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	可決 (賛10、反1)
議案第100号	土佐清水市立竜串貝類展示館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	可決 (賛10、反1)
陳情第1号	土佐清水市迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	議長	趣旨採択 (賛9、反2)

# 一般質問

弘田

条  
議員



## 1 人権行政について

(議員)

意識調査について内容や集約・分析について

(じんけん課長)

18歳以上の方2000人を対象に行い672人から回答をいただいた。

調査票の内容については、コンサル等へ委託せず、自前で集計や分析、報告書のたたき台の作成等を行うこととしている。遅くとも3月末までにお示しできるのではないかと思います。

## 2 災害時の長期停電を

考える

(議員)

実際に長期停電となるか

(危機管理課長)

南海トラフ大地震(L2)の想定では、変電所は大きな津波に襲われ、変電機能は失われると想定される。

四国電力担当者によると、変電所や電柱・配電線等は大きな被害と

なる想定で、災害の規模や範囲によるが、資機材や人員など全ての条件がそろって2週間での復旧を目指しているとのことだ。

## 3 市民体育館及び社会 体育施設全般の利用

状況について

(議員)

市民体育館は、平成12年度新築され、平成14年によさこい高知国体なごなた競技会を開催し、少年女子演技競技では、地元の竹葉・池田チームが見事一位となり大いに盛り上がった。

平成16年度に総合型地域スポーツクラブスクラムを立ち上げ、その翌年平成17年度には、土佐清水市の社会体育施設の指定管理者を受託し今日に至っている。

スポーツだけでなく、太鼓やフィットネス、ダンスなども行い、市民のニーズに応える運営を行っているといえる。

利用状況やスクラムの取り組みについて聞く

(生涯学習課長)

人口1万3400人に対してここ数年市民体育館の年間利用者は、平均で3万6000人、全ての施設利用者は平均7万1000人。

スポーツや文化など多種多様な和太鼓・フィットネス・ラージ卓球・グランドゴルフなど54団体がスクラムに加盟している。硬式テニス大会、シニアソフトボール大会、少年野球大会、ジュニアバレーボール大会、スポーツフェスティバルの開催などを行っている。

### 気になる用語

L2… 発生頻度が高く大きな被害をもたらす地震・津波(L1)に対し、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの地震・津波のこと。



スポーツフェスティバルの様子

## 一般質問

# 前田

## 晃 議員



### 1 9月会議の一般質問 に関わって

(議員)

9月会議では、私の質問通告後に土佐食が購入していた建物を解約したため、通告していた質問が個人(資産)情報に触れることになり、できなくなった。質問通告者の私に解約の事実を連絡しなかったことについての認識は？

(市長)

9月会議では、11名の議員への回答の準備や敬老祝賀会への出席が重なり時間的な余裕がなかった。事前に連絡すべきであり、配慮が足りなかったと思う。

(議員)

土佐食の建物購入と解約の経過についての説明を。

(市長)

建物の購入については、合同役員会(6月16日)において土佐食より外国人労働者や職員の宿舍として活用するために購入したとの報告

があり、協議の結果全会一致で承認した。解約については、購入した物件について重要事項が判明し、社内取締役会(9月12日)において「書類等明確な提示がなかった」ことを理由に元の持ち主の了解も得て契約を解除した、との報告を受けた。

(議員)

建物の情報については、土佐食役員は元の持ち主から口頭でも聞いていなかったのか、また市長もその報告を受けていなかったのか？

(市長)

土佐食の社長も聞いていないし、合同役員会でも報告はなかった。

(議員)

今回の不動産取引は、三セクの法人財産の取引でありながら「重要事項説明書」もなく個人間の取引のように扱われている。土佐食のさまざまな不動産取引のあり方についての認識は？

(市長)

不動産取引については細心の注意を払うよう注意した。

### 2 保護のしおりに関わって

(議員)

改訂された「保護のしおり」の変更点は？

(福祉事務所長)

「生活保護は憲法25条(生存権)に基づく制度」であるということを確認し、「親族がいるというだけで生活保護を利用できないということはない」と改訂した。

### 3 アスベスト対策について

(議員)

民間建築物のアスベスト調査、改修・解体工事への補助制度と市の相談窓口は？

(副市長)

調査には調査員派遣の制度、改修・解体には国3分の1、県6分の1、市町村6分の1の補助制度があるが、いずれも不特定多数の人が利用する建物が対象となる。アスベストの相談は市民課総合窓口で対応。

#### 気になる用語

保護のしおり…生活保護法やその運用について説明するしおりのこと。





## 1 障害者への地域生活 支援体制の整備に ついて

(議員)

障害者地域生活支援拠点等整備事業の概要を問う

(福祉事務所長)

障害者等の高齢化「親亡き後」に備えるため、本市において、拠点等に必要なら5つの機能を備えた地域全体で支援する体制を構築するために実施する。初年度としては、地域のニーズや課題の把握、既存サービスの整備状況を踏まえた関係機関との情報共有、研修会の開催や住民啓発を業務委託により実施する。

(議員)

支援拠点等に備える必要のある5つの機能とはどういった機能が問う

(福祉事務所長)

①障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要ならサービスのコーディネートや相談等必要な支援を行う②介護者の急病など緊急時の受け入れ先や、医療機関への連

絡等の必要な対応を行う③地域移行支援等自立等に当たって一人暮らしの体験の機会・場を提供する④重度化した障害者に対して、医療的ケアなど専門的な対応ができる体制の確保や、人材の育成を行う⑤地域の様々なニーズに対応できるサービスの提供体制の確保や、地域資源の連携体制の構築等を行う機能を言う。

## 2 河川の維持管理について

(議員)

豪雨時の河川管理について問う  
(まちづくり対策課長)

大雨が降った後は、市が管理する市道、普通河川の被害状況把握のパトロールを行っており、地区住民や区長からの通報を受けた際には現地確認を行っている。

(議員)

河川の氾濫防止対策と流れをせき止める葦(よし)や堆積物の除去はどの状況で行うか問う  
(まちづくり対策課長)

河床掘削の周期は、河川により状

況が異なり一様ではない。著しく河川断面を阻害すればその都度対応し、市が管理する普通河川での除去には基準は特段無いが、特に住宅等に被害を与える恐れがある場合には迅速適切に対応する。

(議員)

河川管理を含めた防災への取り組みについての所見を問う  
(市長)

昨今の地球温暖化の影響も相まって豪雨等の被害は増えると思われるが、治水対策を推進し、洪水等による被害軽減を図るとともに、河川の氾濫による浸水を防ぐための整備も必要だと考える。



豪雨時の道路の様子

## 一般質問

# 吉村 政朗

議員

### 1 高齢者介護について

(議員)

介護現場から「ケアマネジャーが不足して大変困っている」との声を聞くが、本市の現状を聞く

(健康推進課長)

ケアマネジャー不足により、緊急的対策として、地域包括支援センターが作成支援を行っている。併せて四万十市や宿毛市に受け入れをしてもらっている現状だ。

(議員)

地域包括支援センターは、高齢者福祉の総合的な相談窓口であるが、近年は業務量が増加しているにも関わらず、職員数は増員されず大変な状況下にある。

緊急的な対策ということであるが、あまり望ましくない状況だ。

早期にケアマネジャー確保に取り組むべきだ。

(健康推進課長)

介護人材育成支援事業により、ケ

アマネジャーの資格受験料や研修受講料の補助制度を創設し、受講しやすい環境整備に取り組んでいる。

(議員)

国や県は2025年問題の対策として病院のベッド数を削減し、在宅医療への転換を図る方針だ。これは、在宅介護・医療や高齢者施設を整備することが必要となってくる。本市としての対策を問う

(健康推進課長)

本市の病床再編状況を注視しながら、住宅介護サービス等の利用者状況の把握を行った上で、介護保険事業計画に位置付け安心して各サービスの利用が可能になるよう取り組んでいく。

### 2 林業施業について

(議員)

2019年度に森林経営管理法が施行され、森林環境譲与税制度が始まった。



これからの森林環境譲与税の使途を聞く

(農林水産課長)

来年度は「森林を守る担い手育成事業」等に加え、林道路網の改修を考えている。

(議員)

市有林を森林の担い手事業の実施地(モデル林)として活用してはどうか?

(農林水産課長)

実施・研修場を市有林とすることは最適だと思うので、これまで市有林の施業に大変お世話いただいている森林組合や林業研修の専門家に相談したい。

### 3 道の駅・めじかの里について

(議員)

近年、竜串地区に新しい観光スポットが整備される中、道の駅・めじかの里はその一翼を担う役割が

求められている。

思いきった対策をとる時にきているが、考えを聞く

(農林水産課長)

国の支援制度を活用して事業展開しているところで、先進地視察や専門家を招いて活性化に向け取り組んでいる。



森林を守る担い手育成事業(チェーンソー研修)

## 一般質問

# 細川 博史 議員



### 1 集落活動センターについて

(議員)

「下川口家」では、どのような運営がされているか？本年4月からの動きについて

(企画財政課長)

活動拠点施設として下川口家直売所をオープンし、地元(下川口地区)で作られた野菜や手作りの民芸品の販売のほか、地域からの要望により、総菜などの調理・販売も行っている。また直売所に喫茶コーナーを設け、交流の場・憩いの場としても活用されている。

(議員)

下川口家は動き出したばかりではあるが、現在把握している課題は(企画財政課長)

まず「人材難、人材不足」の課題と外貨をかせぐ取り組みが必要で、核となる商品の開発、商品づくりを行っている。専門家等、外部の視点が必要と考えており、県のアドバイザー制度等を活用し支援していきたい。

(議員)

来年7月に「新足摺海洋館SAT OUMI」がオープンし、多くの観光客が来ると予想がされるが、今後の展開は

(市長)

過疎の進む中山間地域の小さな集落であっても、地域の誇りをもつて住み続けられるための政策で「集落活動センター下川口家」の開設が本市では最初の一步。下川口家の取り組みが、他の地域へと波及するよう取り組んでいきたい。

### 2 高齢者福祉の推進に

ついて

(議員)

本市の老老介護の現状について(健康推進課長)

H28年の国の「国民生活基礎調査」によると、年齢別にみた同居の介護を必要とする要介護者等と主な介護者との割合の中で、「65歳以上の要介護者等を65歳以上の者が介護している」老老介護の割合は

54・7%となっており、老老介護の実態があるものと考えられる。

(議員)

具体的な取り組み内容は

(健康推進課長)

介護の負担軽減を図る家族介護教室を市内の各地区で実施しており、認知症高齢者を介護している家族の身体的・精神的負担の軽減を図る事業も実施している。

(議員)

本市では、今後も人口減少や高齢化が進むことが想定され、さまざまな課題が出てくると思うが、今後の取り組みは

(健康推進課長)

現在の施策を継続し、来年度から策定作業に取りかかる土佐清水市第4期地域福祉計画での、地域座談会の結果等も踏まえて、より効果的な取り組みを実施していきたい。



下川口家直販所の様子

# Q 一般質問

## 作田 喜秋

議員



### 1 認知症の方への支援について

(議員)

認知症サポーターの人数は

(健康推進課長)

平成31年3月末で、693人。

実際の支援活動を行う認知症高

齢者見守り支援員は9月末で77人。

(議員)

活動状況は

(健康推進課長)

見守り支援員が家庭を訪問し、話し相手や見守り支援、外出支援等の生活支援を行っており、平成30年度は、利用者35人に対し、624回訪問している。

(議員)

今後の取り組みは

(健康推進課長)

小学生もサポーターになっていくので高齢者と関わることもない若い世代にサポーターになってもらい、子どもから高齢者の方まで幅広い年代で支えあう地域づくりを進めていきたい。

さらに認知症見守り支援員の事業周知を行い地域で支える体制づくりを構築していく。

### 2 子どもの安全見守り

サービスについて

(議員)

このサービスはGPS端末を子どものランドセル等に入れておき保護者がスマホのアプリで居場所等を確認するもの。GPSアプリでの見守りサービスの導入を

(ごとも未来課長)

本市では補導センターやスクールガードリーダー等が登下校時の見守り巡回活動をしており近年では大きな事件や事故もない。

このサービスは電力会社が提供するGPS位置情報を活用した子どもの見守りサービスだが、四国電力では実施しておらず、予定もないとのこと。今後この見守りサービスが可能となれば、子どもを犯罪から未然に守るため事業の導入について検討していく。

### 3 市民救急活動支援員制度について

(議員)

救命率向上へ市民支援員制度の

導入を

(消防長)

この制度は、市民を対象に上級救命講習や消防規定の研修等を受け委嘱するもので、急病人や怪我人が発生した際、救急車より早く現場にかけつけ応急処置を行う。

当本部では救命率向上を目的に、中・高生、自主防災組織、消防団員等に普通救命講習を実施しており受講者が救命処置を講じた事例もある。

この支援制度は救命率向上効果に繋がると考えられるが、諸般の事情によりすぐに制度の導入とまではいかない。救急講習などで啓発し気運が高まれば、導入も視野に入れた対応をしていく。



普通救命講習



認知症サポーター養成の様子

# 一般質問

## 岡本

### 詠 議員



### 1 土佐清水市の財政状況、長期財政見通しについて 市民生活への影響は本当に ないのか？

(議員)

平成30年度決算に基づく実質公債費比率が18%を超えた自治体は、全国で1741ある市区町村中、わずかに8団体。本市は、全国の市の中で夕張市、宮津市に続いてワースト3位。財政調整基金残高の推移は？

(企画財政課長)

H27年度末13億2201万円、H28年度末12億6571万円、H29年度末10億1738万円、H30年度末9億2100万円、R元年度末見込み8億5568万円。

(議員)

実質単年度収支の推移は？

(企画財政課長)

H27年度656万円、H28年度△1億5508万円、H29年度△1億8430万円、H30年度△1億198万円。

(議員)

実質単年度収支の状況から分かることは、平成27年度までは財政調整基金も増えて健全な財政運営がなされてきたが、平成28年度からは実質的に赤字に転落し、財政調整基金を取り崩してやりくりしているということ。

仮に実質収支が黒字でも、実際は赤字を埋めるため財政調整基金等を取り崩して、会計上黒字に見せているだけ。このような財政運営について市長の見解は？

(市長)

普通交付税の大幅減、市民の命を守るための大型事業実施により義務的経費が増大し大変厳しい財政運営を行っている。今後も歳出抑制・経費節減、既存事業の費用対効果を十分に検証し、市民サービスを低下させないよう限られた財源の中で知恵を出し合い工夫しながら健全財政に努めたい。

### 2 学校給食に関して、 下ノ加江小学校の搬入口が 使用できていなかったこと について

(議員)

なぜこのようなことになったのか？

(ごとも未来課長)

当初改修設計の図面確認の際に現場検証が不十分だった。

(議員)

市長の見解は？

(市長)

1年半もの間、対処しなかったことは大変問題。担当職員には顛末書を提出させ厳重注意を行った。この行為は教育行政に対する信頼失墜行為に値する。

(議員)

現在は搬入できるようになっているとのことだが、隙間が指1本入るかどうかがギリギリの状態。今でも問題があるのでは？

(教育長)

カーポートが入れば目的は達成。逆に丁寧に作業される分は良かったと思う。今後業者と協議し、改善策等があれば検討する。



下ノ加江小学校の給食搬入口

# 一般質問

## 武政 健三 議員

### 1 ふるさと納税について問う

(議員)

昨年同時期との比較と今年の予想数字は？

(企画財政課長)

昨年11月末、4207万円の寄附額に対し、今年度は約2・3倍の9569万円、今年の最終数字は約2億3000万円の予想。

(議員)

素晴らしい！本市の大きな財源になるので来年5億円、2〜3年後には10億円を目指して頑張ります。

### 2 先日開催の

スターウォッチングを題材に

企画ものについて問う

(議員)

主催と運営はどこ？

(観光商工課長)

主催、運営はあしずり温泉協議会。

(議員)

目的と昨年、今年の集客人数は？

(観光商工課長)

スターウォッチングの旅行商品化または有料の体験プログラムにつなげ、観光客増を目指すことが目的。イベントとして昨年は経費をかけ、唐人駄場でバンドを呼ぶなどをして開催、600人の集客だったが、今年は経費をかけず足摺岬展望台で開催してホテル宿泊者など50人ほどの集客に終わった。

(議員)

イベントは失敗は許されない。目的は何か、目標の設定、実行、結果、最後に反省会をして次回のために記録を残す！これを実行し、たとえ市が主催でなくともどんなに小さなイベントでも関連会社と確認、連携を取りながら成功させるべき。

### 3 観光客増に向け、

足摺岬遊歩道の整備及び  
観光地としての在り方を問う

(議員)

遊歩道の清掃・整備は誰がどの周期でどのようにしているか？

(観光商工課長)

市から観光協会へ委託して、清掃は2人体制(4時間)で週3回と、年4回以上の四国のみちのパトロール、及び年2回の休憩所周辺の草刈りを実行。また、地元の足摺岬の自然を守る会の皆さんが毎月20日にボランティアで遊歩道周辺を清掃していただいている。

(議員)

足摺岬遊歩道及び大岐の浜北側駐車場の木が伸びて海が見えない場所の伐採は可能か？

(観光商工課長)

両方とも国立公園内なので環境省の許可が得られれば可能。大岐の浜は民有地でもあるので所有者の許可も必要となる。

(議員)

私たちの土佐清水市は観光の街、観光客という大事なお客様をお迎えするためには、木が伸びて見えな

くなったから切るではなく、いつ来られても綺麗な環境でないといけない。定期的な伐採をするべきだと思う。

(市長)

環境省と連絡を取りながら、素晴らしい景観を観光客の皆様に見ていただきたい。注意を払っていききたい。



足摺岬遊歩道の清掃の様子

# 委員会の 審査内容 (抜粋)

## 10月会議

### 産業厚生常任委員会

#### 土佐清水市地場産品販売

#### 施設の指定管理者の 指定事項の変更について

(執行部)

平成29年4月から令和2年3月末までの間、土佐清水市地場産品販売施設の指定管理者としていた「土佐食株式会社」が、令和元年10月1日から第三セクター3社の合併により、新たに「土佐清水食品株式会社」となり、これまで土佐食が行ってきた、指定管理業務について、土佐清水食品株式会社が行う旨の届出書が提出されている。

指定管理者制度の運用では、法人格に変更が加えられた場合は、議会の議決を経た

上で再度指定を行う必要があるとされていることから、土佐清水市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第8条の規定により本議案を提案するもの。

(委員)

売り上げと集客数について。

(執行部)

直販所及び食堂の売り上げについては、平成29年度約3150万円、平成30年度3640万円余りとなっている。また、集客数については、平成29年度が5万945人、平成30年度が5万7155人となっており、今年度も売り上げ、集客数ともに伸びている。

(委員)

市外や県外の商品が置かれており、地場産品の販売に影響があるのではないか。

(執行部)

販売スペースに多くの農産物を置きたいので、市外から仕入れた野菜等を置いている

ことは聞いている。なるべく地元産の野菜等を優先的に置くよう要請していると聞いており、出品者は地元の方との規定はあるものの、地元産のみという取扱いはしていない。

## 12月会議

### 予算決算常任委員会

#### 令和元年度土佐清水市

#### 一般会計補正予算

#### (第5号)について

#### ◆農業総務費について

(委員)

地域集積協力金について。

(執行部)

中山間地域を中心に要件が緩和され、地域集積協力金を中山間地農業の振興施策として、予算の優先枠に位置付け、単価を平均2割引き上げることとなった。

(委員)

事業内容や対象地区について

て。

(執行部)

国は令和5年度までに全国の農地の8割を担い手に集積するという目標を掲げ、そのための施策として平成26年度にスタートした農地中間管理事業の活用によって農地の集積を進めており、地域集積協力金は、その農地中間管理事業の活用を要件として地域に集積協力金を交付すること、担い手への農地の集積を推進することを目的としている。

本年度は市野々地区、下益野及び浜益野地区を対象に行っており、担い手がいる地域に関しては、積極的に働きかけを行っている。

(委員)

小規模園芸農地集積支援事業について。

(執行部)

県が本年から開始した単年の新規事業で、農地中間管理事業を活用して、園芸品目を

生産する担い手に対して、補助要件を満たす農地を提供した土地の所有者に対して補助を行う事業であり、目的としては園芸品目を支える担い手の規模拡大と、収益性の向上を促進するものとなっている。また、この事業の対象者は、事業要件を満たす農地の出し手である地権者となる。

### 総務文教常任委員会

「土佐清水市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定について」  
「土佐清水市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定について」  
「会計年度任用職員制度の導入等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」

(執行部)

地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、地方公務員の臨時・非常勤職員について、特別職の任用及び臨時

的任用の適正を確保し、並び

に一般職の会計年度任用等に

関する制度の明確化を図ると

ともに、会計年度任用職員に

対する給料、報酬等の規定に

ついて条例整備を行うもの。

(委員)

市役所の職員の構成が常勤、特別職の非常勤職員及び会計年度任用職員の3種類になるのか。

(執行部)

新制度では、臨時職員は全て会計年度任用職員に移行されることになる。

(委員)

会計年度任用職員制度を導入することで、人件費の増額が予想されるが、国からの財源保障はあるのか。

(執行部)

地方六団体は会計年度任用職員制度導入に当たって、その分の人件費が増えることについては地方財政計画に盛り込むよう要望はしているが、現時点では明確な政府の回答

はない。

(委員)

常勤職員に代えて、フルタイムの会計年度任用職員で対応するようなことにならないか。

(執行部)

職員体制については、組織機構改革の中で今後の検討課題ではあるが、常勤の職員数を減らして会計年度任用職員を増やすという考えはない。

(委員)

臨時職員の待遇改善につながることは高く評価するが、常勤職員がフルタイムの会計年度任用職員に置き換えられることがないよう対応を要請する。



### 産業厚生常任委員会

#### 1 土佐清水市印鑑条例の一部を改正する

##### 条例の制定について

(12月2日に可決)

(執行部)

今回の改正は、令和元年6月14日に「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布され、成年被後見人等の人権が尊重され、成年被後見人等であることを理由に不当な差別をされないよう措置を講ずることとされたことを受け、国が示している印鑑登録証明書処理要領の一部が改正されたことに伴い、本市印鑑条例の一部を改正するもの。

改正内容は、これまで「成年被後見人は、印鑑の登録を受けることができない。」と規定していたが、「意思能力を有しない者は、印鑑の登録を受けることができない。」に変更し、成年被後見人であっても

法定代理人が同行し、かつ、成年被後見人本人による申請があるときは、この成年被後見人は意思能力を有するものとして印鑑登録ができることとなる。

なお、地方公共団体の条例等の整備が必要なものは原則公布の日から6カ月とされ、施行期日は12月14日からとなるが、国から改正についての通知が遅れたため、12月会議への上程となった。

#### 2 「土佐清水市立水産加工場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について」 「財産の無償譲渡について」

(執行部)

第三セクターの業務を大幅に再編し、好調であるペットフードのライン化を図りたいとの意向もあり、旧土佐食から柔軟に設備投資や改修工事を実施したいため、譲渡の要請を受け、市としても施設を譲渡する方向で検討した結果、施設の譲渡及びそれに伴う条例の廃止についての議案を提出している。

譲渡する財産は、土地については、土佐清水食品株式会社、三崎工場、第一食品棟及び第一工場が整備されている土地で、1万3590・14平方メートル及び24・72平方メートル。建物については、土佐清水食品第一食品棟、旧土佐食の三崎の第一食品工場、本体施設と冷凍冷蔵施設、



総合窓口

排水処理施設を備え、建築面積が2710・43平方メートル。また、土佐清水食品第一工場、旧土佐食の三崎第二工場の本体施設と排水浄化施設を備えた988・75平方メートル。

譲渡先は土佐清水食品株式会社で、譲渡時期については、令和2年1月1日としたい。

**(委員)**

財産価値の有無について。

**(執行部)**

財産価値はある。

**(委員)**

財産価値があるのに無償譲渡にする理由は。

**(執行部)**

この建物は建設後25年経過していることもあり、排水浄化施設や冷凍保管施設等がかなり老朽化しており、今後も数千万円単位での修繕が必要になってくることが予測され、土佐清水食品としても柔軟で速やかな改修を行いたいとの意向もあり、無償譲渡と

いう形で、メジカ対策業務は引き継がせるということになっていいる。

また、当施設は国の補助金を導入していることもあり、譲渡に当たっての条件として、国での手続は無償譲渡が条件になっているため、耐用年数から算定すると、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の適用期間が13年ほど残っており、無償譲渡以外では3500万円ほどの返還金が生じることになっている。

**委員長報告から抜粋**

9月会議で付託を受けました陳情について、継続審査となっており、審査の概要と結果について報告いたします。

**3 陳情第1号「土佐清水市迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情」について**

**迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情**

委員会審査に当たり、正副委員長が布地区を訪問し、区長に面談するなど現場状況の確認を行いました。

区長の話によりますと、時には道路の両サイドに車を駐車しており、行き違いが困難な場合や、複数の車が並行して駐車することから死角が多くなり、近隣住民の生活に危険を及ぼす状況とのことでありました。また、布橋付近については、橋のすぐそばから車

の低い車が駐車していることもあり、通行の視距が制限され非常に危険な状況である

ことも確認いたしました。地元区長の意向を聞き取りをしたところ、まずは看板設置をしてほしいとのことであり、以上のことなどを委員に報告し、陳情の審査に入りました。

執行部からは、布橋付近について、非常に危険な状況であり、コーンを設置し駐車ができないように制限するということも一つの手立てとしてあり、道路管理者としてできる部分ではないかとの見解が示されました。

また、地元の意向を踏まえ、委員会としては、早急に対応する必要があるとの判断をし、まずは看板設置をして啓発すべきとの意見に集約されたとところであります。

本陳情内容は「土佐清水市迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情」でありますので、趣旨採択とすべきであるとの委員からの発言があり、これについて委員か

ら異議はなく、趣旨採択することについて諮った結果、全会一致により、趣旨採択とすることに決定いたしました。執行部におかれましては、早急な対応を要請いたします。



**陳情・要望等**

件名	陳情者	審査結果
土佐清水市迷惑駐車防止に関する条例の制定についての陳情	川村 勝俊 氏 三木 篤 氏 西畑 清造 氏 布郷区長 布浦区長 布東谷区長	趣旨採択

# 議長の活動報告

議長は年間を通じて議会を代表し、各種行事、式典や会合等に出席するほか、本会議において議事を整理し、議会の事務を統理するといった職務を遂行しています。

10月から12月までの議長の主な活動状況については、左のとおりとなっております。

- 10月
- 3日 香美市議会行政視察来局
  - 5日 第43回土佐清水市高齢者体育大会
  - 8日 四国横断自動車道高知県建設期成会四国地方整備局要望(高松市)
  - 18日 第59回土佐清水市美術展覧会開会式
  - 19日 第59回土佐清水市美術展覧会授賞式
  - 21日 幡多広域市町村圏事務組合議会定例会(四万十市)
  - 24～25日 中国四国防衛局・中国四国環境事務所要望(広島県・岡山県)
  - 26日 太陽の家運動会
  - 30～31日 第14回全国市議会議長会研究フォーラム(高知市)
- .....
- 11月
- 1～2日 第10回日本ジオパーク全国大会  
2019おおいた大会(大分県)
  - 5日 四国横断自動車道高知県建設促進期成会  
国土交通省・国会議員要望(東京都)
  - 6日 全国市議会議長会第217回理事会  
全国市議会議長会第107回評議員会(東京都)
  - 9日 土佐市制施行60周年記念式典(土佐市)
  - 10日 土佐清水市戦没者追悼式
  - 14日 全国市議会議長会社会文教委員会正副委員長  
会議・第166回社会文教委員会(東京都)
  - 15日 全国過疎地域自立促進連盟139回理事会  
第50回定期総会(東京都)
  - 16日 高知県立清水高等学校創立70周年記念式典
  - 20日 四国西南地域道路整備促進協議会による  
中央要望(東京都)
  - 22日 幡多広域市町村圏事務組合議会監査(四万十市)
  - 25日 土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会  
臨時総会(四万十市)
  - 26日 幡多三市議会議長懇談会(土佐清水市)
  - 30日 第36回土佐清水市産業祭
- .....
- 12月
- 4日 令和元年度第2回土佐清水ジオパーク  
推進協議会役員会
  - 19日 第52回土佐清水市社会福祉大会
  - 20日 高知県防衛協会土佐清水支部年末激励会
  - 23日 ジョン万次郎NHK大河ドラマ化実現の要望(高知市)



全国市議会議長会第107回評議員会で  
社会文教委員会副委員長として登壇



全国市議会議長会社会文教委員会正副委員長による  
自見はなこ厚生労働大臣政務官への要望活動



第36回土佐清水市産業祭

- 10月 10日 議会だより編集委員会／幡多三市議会議員研修会・意見交換会(宿毛市)  
 18日 議会だより編集委員会  
 21日 議会運営委員会  
 28日 10月会議再開・散会／議会運営委員会／議会報告会検討委員会



- 11月 8日 産業厚生常任委員会  
 25日 議会運営委員会  
 27日 産業厚生常任委員会  
 28日 総務文教常任委員会  
 29日 議会広報研修(高知市)

- 12月 2日 12月会議再開／産業厚生常任委員会  
 9日 質疑・一般質問／議会運営委員会  
 10日 一般質問  
 11日 一般質問  
 12日 予算決算常任委員会／議会運営委員会  
 13日 総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会  
 18日 議会運営委員会／令和元年度土佐清水市議会定例会(12月会議)閉会

## 編集後記

令和となって初めての新年を迎えてから、はやひと月が経ちました。

令和2年は東京オリンピック・パラリンピックの開幕、そして本市にとっては、3月のビクターセンターオープンに始まり、7月には新足摺海洋館SATOUMIがオープンし、竜串を中心とした観光の年となります。竜串地区はもとより、本市全体、幡多地区全体の観光へと経済波及効果が期待されます。市議会としても全面的に応援していきたいと思えます。

また、議会では、議会報告会の改革をはじめ、新たな挑戦をしながら、より身近な議会となるよう、議員一人一人が精進しながら市政発展のため頑張っています。

本年も皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

委員長 細川 博史

## 市議会を

傍聴してみませんか

開催日程など詳細は、事前に議会事務局(☎(82)1112)までお問い合わせください。

次回の開催予定は3月上旬です。日程が決まり次第、防災行政無線でお知らせいたします。

本会議の一般質問など会議での発言を記録した「会議録」を作成しています。会議の詳しい内容は会議録をご覧ください。

どなたでも閲覧できますので、市民図書館・議会事務局へおこしください。



## 土佐清水市議会だより

編集委員会

委員長 細川 博史

作田 喜秋

弘田 条

武政 健三

前田 晃